



感じて動く ~ Feel & Move ~

目指す児童像:かしくさいっぱい やさしくさいっぱい たくましくさいっぱい

三城小学校 学校だより
R6.1.23 第17号
校長 田中康隆

「キセキ？」JAL 機の衝突事故に思うこと

前日も触れた JAL 機と海上保安庁の航空機との衝突事故について、あのような大惨事だったにも関わらず乗客の犠牲者は0(ゼロ)であったことが、世界では「きせき」と言われています。乗務員の指示に従いながら、自他の生命を尊重し、整然と避難ができたからこそ全員が助かったと言われています。

そこには、被災地で商店からの略奪が起こらない国、スポーツの世界的な大会で応援席をきれいに清掃して引き上げる姿に見られる、「他人に迷惑をかけずルールを守る」「相手の気持ちを思いやる」等の秩序ある日本の国民性が根底にあると言われています。「自己主張が弱い」「画一的になる」等、マイナス面としても挙げられることはありますが、要はバランスの問題だと考えます。そして、この日本人のよさを支えてきたのは、学校教育であるとも言われています。学校教育というのは、学校という建物の中で行われていることだけを指しているのではなく、子供たちを中心に据えて保護者や地域の方々の理解と協力を得ながら、参加をしていただきながら行われてきた教育です。社会性や道徳性は、身の回りの大人の影響が大きく、教員の力だけでどうこうできるものではありません。

今回のことを受けて、これからも保護者や地域の方々と力を合わせて、「日本の未来を支えてくれる」「世界に誇れる」人材を育てていきたいという意を強くしたところでした。

野球しようぜ！～大谷翔平選手からのプレゼント届く～

マスコミでも話題になっている、大谷翔平選手からのプレゼント(グローブ)が、先週末本校にも届きました。私自身もニュースで話題になるたびに「大村市は、まだかなあ」と心待ちにしていました。3つのグローブには、以下のようなメッセージが添えられていました。

貴校ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

ロサンジェルス・エンゼルス・オブ・アナハイムのメジャーリーガー、大谷翔平です。

この手紙は、このたび私が学校へ通う子供たちが野球に興味を持ってもらうために立ち上げたプログラムを紹介するためのものです。

この3つの野球グローブは学校への寄付となります。

それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。

このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からのこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。(中略)

野球しようぜ。



大谷選手なりの、野球やこれまでに関わってきた人たちへの感謝の気持ちの表し方だと受け取っています。このような人の思いに触れ「感じて動く」三城小の子供たちであってほしいと思います。

本日、児童集会で紹介した後、各学級回覧をして子供たちにも触れさせる予定です。